



＝五一中2年生5名が「校外学習：職場訪問」で来館＝

(代表記)

10月29日(木)午前9時から75分余り、五城目第一中学校2年B組の生徒さん5名が校外学習：職場訪問で来館してくれました。席上では様々な質問があり不慣れな小生は満足な応答も出来ずレポート提出で苦勞をされたのではないかと心苦しく思った次第です。学校生活ではお互いに切磋琢磨し友情を育み目標や夢に向かい成長して行かれるようエールを送りました。

最後に、生徒さんから中学校の給食を交流館の宿泊者にも食べて頂きたいとの希望も承りました。部外者にも自慢できる給食の味は大変羨ましく思いました。



来館された生徒さんと引率の児玉幸子先生

ちよだ五城目交流館様
先日は、お忙しい中貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。ありがとうございました。
このたびは校外学習では温かく迎えてくださり本当に嬉しく思います。ちよだ五城目交流館のことについてたくさん知ることができました。たくさん質問にも一つ一つ丁寧に答えてくださりありがとうございました。
また、中学校生活で大切にすべきことなど、これからの私たちにも役に立つお話を聞くことができてよかったです。私たちは、小林さんの「自分で決めてはいけない」「目標は向かい頑張らない」という姿勢と「目標を定めたら百パーセント下げてはいけぬ」「目標は向かい頑張らない」という姿勢と「目標に向かい進む途中に挫折してはいけない」「百パーセントを目指してしまつと途中で折れてしまふ」という言葉が心に残りました。
今回、学んだことをこれからの学校生活に生かすことも、また、中学生として地域のために何かことをやまるとも、考えていきたいと思えます。

五城目町立五城目第一中学校 二年B組
希川好 石川日向 関口陽菜
船野雄登 村野海音



後日お礼状が届きました

♡♡♡ 朝市通りガレージの黒塀に補足看板を取り付けました ♡♡♡



編集・発行 姉妹都市ちよだ五城目交流館 代表小林敏夫 秋田県五城目町字下夕町190番地
電話018-852-2023 090-1619-2114 3115830901@jcom.home.ne.jp 携帯 minanaro3776@docomo.ne.jp

2020下半期の五城目町滞在記

(代表記)

【10月24日】

3も隊（もっと森山を盛り上げ隊）は、最初の事業として森山登山道の環境整備のため、町内外の愛好者34人が参加し登山道の途中に休憩用の丸太やクマよけの空き缶など設置し約1時間で第二高地に到着しました。作業の間には麓の町並みや遠くの山並みなどの眺望を楽しみました。終了後には主催者役員有志が交流館に集まり検討会兼慰労会を実施し来年度からの本格的な活動に備えました。



和室で検討会兼慰労会

【10月26日】

横手市商工会サービス部会は研修旅行として大型バスをチャーターし22名が五城目町を視察訪問されました。福祿寿や馬場目ベースの見学の途中に交流館にも立ち寄って頂きました。館内をご案内したあと設立の主旨や日頃の活動などを説明し備え付けの資料を配付しPR活動を実施しました。



横手市商工会サービス部の皆さん

【10月27日】

盛岡市の学校法人「龍澤学館」理事の黒沼芳朗さん夫妻が旅行途中に交流館に立ち寄られました。館内を案内し説明した後、黒沼さんは東京通勤時に岩手出身者と古里再興について議論

したこと等話をしてくれました。町の出身者は親や兄弟が亡くなると古里の縁は次第に遠のきます。しかし古里への思慕や郷愁は一層募っていきます。そこで、出身者が帰省時に地元の方々と交流する場を設け様々な意見交換の中から古里への希望を吸い上げ新しい町づくりのヒントとする。関係人口は地縁から始める案を話されました。また釣りが趣味なので春になったらまた立寄りたいとの嬉しい言葉も頂きました。



黒沼芳朗様ご夫妻

【10月31日】【1月23日】

五城目町が主催するインターネットを活用した関係人口創出事業「オンラインミーティング」が馬場目ベースで2回開催されました。当館の事務局員で3も隊の事務も兼務する齊藤大蔵役員も参加しました。「オンラインミーティング」はオンライン会議アプリ「ZOOM」を使用し、町内で町おこしに取り組む：もっと森山を盛り上げ隊=3も隊・馬場目地区にカフェを作る団体の2団体と参加申込みをされた方との意見交換を実施し関係人口の拡大・深化を図りました。参加者の皆さんには町からの特産品が詰まった「五城目詰合わせボックス」がプレゼントされました。ちよだ五城目交流館は本事業に全面協力していくと共に必ずや目的が達成されるものと確信しています。

10/31 主催者の皆さん 1/23



疫死追悼碑に手を合わせコロナ禍終息を祈願

(代表記)

交流館に近い高性寺境内に疫死追悼碑が建立されている。石碑は難解でいつも何が書かれているか分からず仕舞いでいたが、この度、住職さんに尋ねる機会がありましたのでここにご紹介します。

人生において最大の不幸は天命を待たず突然悪質な流行病に罹患し投薬や治療看護を受けながらも急激に衰え遂に死亡し、その上納棺の儀式さえも満足に行われえないということは不幸のうち最も不幸なことであり追悼甚だしいものです。

明治19年8月コレラが大流行し秋田県南秋田郡五十目村（現五城目町）が最も激しく、病勢の広がり毒菌が空気を伝染するように数百人が犯された。その時村への出入りを封じ官は検疫所を設置し患者を避病室に入れ警察（当時防疫も担当）・医師などを派遣して専らコレラの撲滅に尽力した。警部補野中某（野中久井・高知県出身）は率先勇進たゆまず大勢の人を励まし職務を遂行していたが、たちまちコレラに感染し俄に死亡した。一郷の人達はの病気に対する知識にも乏しく唯々蛇蝎のように忌み嫌った。この時避病室に入った者は210余人か、また遮断法を設けて住民の移動を禁じたので他村との交流は絶たれ緊急必要な用事があっても果たせなかった。

このように対策を講じてコレラの流行はなお止まらず健康な人々も家を捨てて無人の野や山へ逃げて暮らす者およそ600人、その中には食に飢え寒さに耐え得ない人もおったし家業を営むことも出来なくなった。そこで村内の裕福な人や有志者・僧侶などがこの状態を深く憂えて各々相談し心力を尽くして日夜その救護にあたった。また拠出金・米を募り金2000余円と米110石を以て救済の諸費用に充てた。10月下旬に至り死者161人となったがようやく病勢もおさまり住民の心も落ち着きを取り戻してきたので、村人はまた相談して不幸な死者の供養をねんごろに営みその冥福を祈った。今、明治25年3月その第7回忌に当たり僧侶・村人相談の上、大法会を催して回向し、また惨状と経緯のあらましを石碑に刻んで追悼の意を表した。



高性寺：参道



境内の夫婦榊：町指定天然記念物

従6位 小川弘水篆額 西宮藤長撰 西宮継書 五十目村有志建碑
検疫委員 警部補 石川徳治 戸長 北島孫吉
(資料：真言宗智山派 山王山高性寺 第80代住職 八木下真全様)



疫死追悼碑



追悼碑が納められているお堂

～ ウォーキングコースの風景から ～

(代表記)

【寒風に耐える1本のヒマワリ】



12月16日に撮影：最低気温は-4°でした。広い畑に1本だけ咲いており背丈は2位。勇壮な姿に思い力を与えるものでした。

【枯れ木に白い花】



12月26日午前6時45分頃撮影：枯れ木は白鷺の留まり木になっており日の出と同時に飛び去っていきます。後方は筑波山です。

【今年は早い白鳥の飛来】



12月21日午前6時30分頃撮影：今季初めての飛来目撃でした。例年と比較しかなり早い訪問となりました。



【ISS：国際宇宙ステーション】

12月8日午前5時35分、12月20日午前5時57分、真っ暗な空に星が輝くなか東南方向から北西方向にISSが地球を周回する光をキャッチしました。30秒位でしょうか感動しました。野口飛行士も同乗です。ISSは地上から約400kmの上空を秒速約7.7kmで飛行し地球を約90分で一周し1日約16周しているそうです。

* 令和2年度年会費納入のお願いと新会員の募集 *

本館は五城目応援隊を組織し会員に応募を頂いた皆様の年会費等で運営されている民間交流宿泊施設です。また、設立主旨に賛同頂ける方（新会員）を常時募集しています。受付は4月1日から翌3月31日です。年会費は、次の「三つのコース」の中からお選びください。

- ◎Aコース 2,000円 ◎Bコース 5,000円（年一回姉妹都市の特産品をお届けします。）
- ◎Sコース 10,000円（年二回姉妹都市の特産品をお届けします。）

また、入会をご希望される皆様には「郵便局備付：払込取扱票」に

- ◎口座記号・番号欄 02280-7-139343 ◎金額欄 上記の希望するコースの金額
- ◎加入者名欄 「ちよだ五城目交流館」と、記入のうえお振込を賜りますようお願い申し上げます。

* 宿泊や会合等に皆様のご利用をお待ちしております *

- ◎宿泊利用 お一人様大人（中学生以上）は素泊まり3,000円（税込）会員は2,500円（税込）
幼児は無料で自炊も出来ます。 *テレワーク・オンライン授業・移住体験等～大歓迎!!です。
- ◎施設利用 会合等：お一人200円 宴会：お一人500円（11月～3月：暖房費100円増し）
*詳細はホームページやパンフレット又は代表へお問い合わせ下さい。

お申込み・お問い合わせ先

◆姉妹都市ちよだ五城目交流館 代表 小林敏夫 土浦市乙戸南1-19-22

- ◎交流館加入電話 018-852-2023（不在転送付-代表）
- ◎加入・FAX 029-842-9496 ◎携帯 090-1619-2114
- ◎メール 携帯 minanaro3776@docomo.ne.jp ◎PC 3115830901@jcom.home.ne.jp
- ◎HP：ちよだ五城目交流館で検索（秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会内）

◆上記の電話・FAX・メールにより、お申込み・お問い合わせ下さい。

